



二俣川小だより

10月号 ~笑顔いっぱい 友達いっぱい~

横浜市立二俣川小学校 令和5年9月25日



創立 150 周年

校長 泉 太郎

まもなく 10 月を迎えます。しかし、依然として気温が 30 度を超える日が続き、夏休み明け元気に登校していた子どもたちも少し疲れ気味の様です。このところ日々の欠席人数が 30 人を超える日もあります。主な欠席理由は体調不良や発熱・腹痛ですが、インフルエンザも少数ですがいます。横浜市内の学校では、インフルエンザやコロナウイルスで学級閉鎖をしている学校もあります。ご家庭でも引き続きお子さんの健康観察をしていただき、体調が悪い場合は無理せずご家庭で体を休めるようにしてください。

神無月、全国の神様が集まるという出雲大社。

☆「神無月」と「先生無月」

10 月は和風月名では「神無月」です。今夏、島根県を訪れた際、出雲大社で、10 月は全国の神様が出雲大社に出かけてしまい、その国では神様がいなくなってしまうので「神無月」といい、反対に出雲の国では、全国の神様が集まるので「神在月」ということを知りました。二俣川小学校では 5 月に個別支援学級が学級増になってから 7 月まで、神様ではなく担任が配置されない「先生無月」



が続きました。神話の世界ならお話で済むのですが、現実の世界では子どもたちの学びを保証しなくてはなりません。全教員で時間調整をしながらなんとか乗り切り、8 月に新担任が配置され

先生もバス広告で募集する時代



ました。「先生無月」は終わり、夏休み明けからは、通常通りの学習が進められています。このところ教員不足、教員志望者減などの報道がありますが、島根県を旅行した時、松江の駅前でびっくりするようなラッピングバスを見かけ、思わず撮影してしまいました。どこの県も厳しい状況であるとは聞いていますが、ここまでとは……。私たち教員の仕事は、未来を創る子どもたちの成長にかかわる、価値ある魅力ある仕事であるということをもっと発信していかななくてはならないと改めて感じました。

☆校舎建替え工事が進んでいます②

現在、建替え工事は校舎を建設する場所（校庭）の整備をしています。順調に進んでいましたが、地下から昔の擁壁がそのまま出てきました。現在の校舎を建設したときに、校庭になる場所なのでそのまま埋めたようです。高さ 5 メートルほどの擁壁が延べ約 50 メートルにわたって埋まっていた。ちょうどその場所が新校舎建設のための杭を打ち込む場所であったため、すべて崩し撤去する必要があり、少し工期が伸びることとなりました。校庭にまるで隕石でも落ちたかのようにぽっかりと大きな穴が開いています。

↓ ぽっかりあいた大きな穴



屋上からカメラのパノラマ機能で撮ってみました。